

Nippon Connection in Frankfurt am Main

トリア大学留学レポート

岸上泰斗

6月2日、私は日本学科の学生と日本からの留学生と共に **Nippon Connection** という日本映画祭に参加してきました。**Nippon Connection** とは2000年からフランクフルトで始まった映画祭です。名前は映画祭ということで日本の様々なジャンルの最新の映画を上映し、観客に視聴してもらうことがメインですが、他にも日本文化を体験してもらうために様々なプログラムがありました。このニッポンコネクションは毎年開催されており1万人を超える人々が来場されるそうです。そのためこの映画祭は、日本国外で行われる大規模な映画祭として日本映画の交流の拠点となっており、監督や出演者自らが映画について紹介や質疑応答を行ったりします。

私が行った日は土曜日だったので、小さい会場には多くに人々がひしめいていました会場の中では、いろいろな日本に関する販売店やレストランがあり、久しぶりにラーメンを食べました。また、運よく映画の当日券が買えたので私は友達と二つの映画を視聴しました。一つ目は、『夜は短し歩けよ乙女』です。森見登美彦さんの世界観が全開で一緒に見ているドイツ人たちも見入っていました。二作目は『リバーズ・エッジ』です。この作品はいろいろ衝撃なところも多く、たまに驚きの声が上がったり、ジョークのセリフには笑い声が上がったりしてこちらも楽しかったです。この映画の後には監督自らによる質疑応答があり、日本人やドイツ人の方が疑問に思ったことを次々と質問し、監督がそれに丁寧に対応されていました。とても良い映画だったと思います。三つ目も見なかったのですが人気のため、買うことが出来ませんでした。

最後に写真を撮り忘れたので会場の写真はないのですが、ぜひパンフレットを紹介したいです。右の写真は今年のニッポンコネクションのパンフレットです。ピンクの表紙にタコや達磨みたいなものが描いてあり、デザインした人の日本愛が私的にはとってもお気に入りです。

